

どうしむら きょうどげいのう
道志村の郷土芸能①



かわらはたがぐら
川原畑神楽

神楽のいわれは、けがれを祓い浄め、悪魔を退散させて生命力を高めることによります。道志村では平和と五穀豊穡を願い、子孫繁栄を祈り幸せを呼ぶ縁起ものです。村の各地で行われてきました。川原畑神楽は熊野八幡神社の祭礼で「お祇園」と呼ばれ、7月の中旬に行われます。道志村指定文化財の第八号に指定されています。現在「しんびようし」と「やぐるま」の二つの舞いが伝承されています。祭礼は3日間行われ、「村舞い」が氏子の一軒一軒を廻ってお祇園を盛り上げます。



かんじかぐら
神地神楽

神地地区でも、五穀豊穡、家内安全を祈って、子供神輿やお神楽が奉納されてきました。神楽舞いも「しんびようし」と「やぐるま」があります。例えば「下がり端」は二人の舞いで、「弊の舞い」は一人で幣束を持って、「剣の舞い」は文字どおり二本の剣を持って踊ります。



道志村子ども農山漁村地域協議会 道志村観光協会 〒402-0211 山梨県南都留郡道志村6894-4

TEL 0554-52-1414 FAX 0554-52-1415 URL <http://doshi-kanko.com>

このリーフレットは、広域連携共生・対流等推進交付金から助成を受けて作成しています。